

ふるさと資料紹介

=④=

古文書にみる
こもんじょ

近世庶民のぐらし⑬

通行証

キリスト教信者でないことを証明した「宗門人別改帳」というものがありました。これから名前を外された人は、公に認められた職に就けず、「無宿者」として捕らえられ

在のパスポートと同じような機能さえもつっていました)

天保年間、西脇村の長右衛門親子が善光寺参りに出かけましたが、戸隠で長右衛門は病死してしまいました。子供桐三郎は、庄屋の送り状と父の宗門一札を持って村から村へとりレーされ、一六日かけて無事西脇村へ着くことができました。

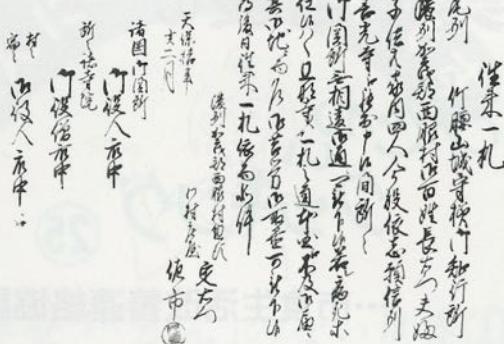
今回は、次の方から貴重な資料を寄贈いただきました。ありがとうございました。

(平成七年一月分)

○考古資料など 一点

(野村咲郎さん／太田町)

博物館建設のため各種の資料を収集しています。文化会館内文化課(☎ 1108)まで情報をお寄せください。



たり、関所を通してもらえた
かつた時もありました。

一方、人別帳に載っている者は、旅行や参詣で他国に出る時に「往来一札」という通行証を与えられました。これを持つていると関所が自由に通ることができ、旅先で病気になつたときは、看病が受けられ、死んだとき葬式も出してもらいました。(これは、現